紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会 2027 第26回全国障害者スポーツ大会

～2027年宮崎国スポに向けて～
元プロ自転車ロードレーサーによる競技力向上講習会が開催されました！

2027年の宮崎県国民スポーツ大会で本市の正式競技予定の「自転車ロードレース」。

（一社）宮崎県自転車競技連盟は５月18日、競技力向上を目的に県内高校生を対象とした講習会を本市で実施しました。愛三工業レーシングチームの専任アドバイザーを務める元自転車プロロードレーサー中根英登さんを講師として招き、参加した県内の高校生39名と約２時間、市内の道路を走りました。

競技力向上講習会の様子

その後、参加者らに走行ラインのとり方や注意点などを丁寧に解説していました。

翌日19日には、本市初開催となるみやざき県民総合スポーツ祭や宮崎県高校総体の自転車ロードレース大会が開催され、迫力のあるレースが繰り広げられました。大会の合間に市内の子どもたちを対象にした自転車レース体験会が開催され、子どもたちは自転車を楽しんでいました。

今後、国スポ開催に向けてさまざまな取り組みが加速していく予定です！

みやざき県民総合スポーツ祭の様子

自転車ロードレースのすごい人にいろいろ聞いてみた！

世界を経験した
元プロロードレーサー
中根 英登（なかね ひでと）さん

プロフィール

愛知県名古屋市出身。高校２年生のときに読んだ漫画に影響を受けて友人と自転車競技を始める。高校３年生のとき、全国高等学校総合体育大会の県大会で優勝に輝き、全国大会に出場し好成績を収める。中京大学に入学後は１年生のときに全国大会にて優勝。その後ヨーロッパの遠征で世界の壁の高さを実感。３年生の秋からチームNIPPOに入りプロの仲間入りとなる。卒業後はイタリアやアジアで活動した後、自転車競技最高レベルの欧州の舞台で活躍。2022年11月に現役を引退後、愛三工業レーシングチームの専任アドバイザーとして日々選手の育成に励んでいる。

Q. 現役時代、どんなコースが得意でしたか？
A. 登りの多いコースが得意です。

Q. 串間市で今回のコースを走ってみた感想をお願いします。
A. すごくいいコースでした。１周40キロ以上のコースを設定できるのは日本では珍しい上にロケーションも最高でした。

Q. 中根選手の思うロードレースの魅力とは？
A. 人力とは思えないほどのスピードで走れることや、プロのカテゴリになると個人競技に見えてチームスポーツであったりと、知れば知るほど深みがあるところが魅力です。

Q. ロードレースを頑張る選手へエールをお願いします。
A. スピードが出る競技なので、ケガには気を付けてほしいです。安全を徹底した上で日々のトレーニングにしっかり打ち込んで、生涯スポーツである自転車を続けてほしいです。

Q. 本市で開催予定のロードレースに向けて一言お願いします。
A. 自宅の前で生のスポーツ観戦ができるのはロードレースの大きなメリットです。待っているときはライブ中継を楽しんで、近くに来たらその迫力を楽しんでもらいたいです。

問 生涯学習課国民スポーツ大会準備室☎55-1162

図書館に行こう Books

おすすめの本
「夏休み自由研究特集」

図書館では、自由研究についての本を多数用意しています。調べたり、まとめたりするのに最適です。

また、夏休み期間中は平日のみ午前９時半開館となります。１、２階の学習スペースの利用もお待ちしております。

「50年後の地球と宇宙のこわい話」
朝岡 幸彦／監修

魚や野菜・果物の産地が変わってしまう!? 未知の生命やウイルスが太陽系の外から飛来する？生きているうちに起こるかもしれない、地球と宇宙の怖い話を紹介します。

「愚か者の石」
河崎 秋子／著

明治18年、瀬戸内巽は国事犯として北海道の樺戸集治監に収監された。同房の山本大二郎は夢のようなほらばかり吹く。硫黄採掘の苦役で目を悪くした大二郎は火事とともに姿を消し…。「ともぐい」で直木三十五賞を受賞後の作品。

●串間市立図書館
☎72-1177
●開館＝午前10時～午後６時
●休館日＝毎週月曜日
●ＨＰ＝https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html

新刊情報

凍空と日だまりと（あさの あつこ／著）
クスノキの女神（東野 圭吾／著）
愚道一休（木下 昌輝／著）
惣十郎浮世始末（木内 昇／著）
黄昏のために（北方 謙三／著）
谷から来た女（桜木 紫乃／著）
天に挑む（佐々木 功／著）
古本食堂（原田 ひ香／著）

イベント情報

「夏休みこども絵画教室」
●日　時＝７月28日（日）午後１時～
●場　所＝図書館２階会議室
●参加費＝無料
●定　員＝８名（要申し込み）
●対　象＝小学生（低学年は保護者同伴）
●持ち物＝絵具・筆記用具
汚れてもいい服装でおいでください。
詳細は図書館までお問い合わせください。

市長コラム
アサガオの花

今年も猛暑が予想されますね。日中は仕事で汗をかき、夜は暑さで睡眠が浅くなりやすいこの時期は、疲れを溜めこまないように水分補給などの熱中症対策をして皆さんご自愛ください。

「早起きは三文の徳」という、早起きをすると少しでも良いことがあるという意味のことわざがありますが、中国の「早起三朝當一工（３日続けて早く起きれば１人分の働きになる）」が語源といわれています。これが日本に伝わり意味を変えて「三文の徳」という言葉になりましたが、その語源は諸説あるそうです。主なものの１つに、土佐藩が治水対策で堤防を築き固めるために、堤防の土を朝早くから踏み固めた者に褒美として三文を与えたという説があります。私は早起きと朝の運動を継続して行っています。そのおかげで健康維持ができ充実した日々を過ごすことができています。

高校球児の憧れの舞台であり夏の風物詩でもある「甲子園」。夏の日中の炎天下で繰り広げられる球児たちの激戦は目を見入るものがありますが、今夏は熱中症対策として試合を午前と夕方に分けて行う二部制を、開幕から３日間限定で導入されることになりました。

子どもたちは年々上がる気温とうまく付き合いながら限られた時間の中で厳しい練習を耐え抜いて自身を鍛え、また、友人との絆を深めるなどして人間力を高めています。その力がやがて自立した一人の人間として力強く生きる力になり、社会を作っていくと私は考えています。

最近、運動のために庭に出ると、アサガオが鮮やかな花を咲かせていて、まるで「おはよう」と笑顔で言っているかのように迎えてくれます。夏の風物詩であるアサガオやホオズキ、風鈴などはとても心を和ませてくれます。アサガオの色ごとに異なる花言葉の中には「愛情」「結束」「明日もさわやかに」などがあります。厳しい炎天下の中でも力強く花を咲かせるアサガオのように、皆さま体調管理に気を付けながら元気に夏を乗り切りましょう。